



一球通信 vol.161

*****コンテンツ*****

1. 旧三商大交流戦 開催のお知らせ
2. 最近の活動レポート
3. 植樹会との環境整備作業
4. OB 便り H14 卒 岩松亨様



1. 旧三商大交流戦 開催のお知らせ

毎年夏に行われております三商戦について、今年はコロナウイルス感染拡大のため実施が延期されていましたが下記の日程で開催されることが決定致しました。

本大会は今年で85回目を迎えることとなりましたが今年度も熱き戦いが繰り広げられることが期待されます。有観客で開催予定となっておりますので、OBOGの皆様もご観戦頂けます。ぜひお越しください。なお、開閉会式および試合後のレセプションはございません。

日時：11月21日（土）

場所：ほっともっとフィールド神戸

第一試合 8：45 開始 神戸大学 vs 大阪市立大学

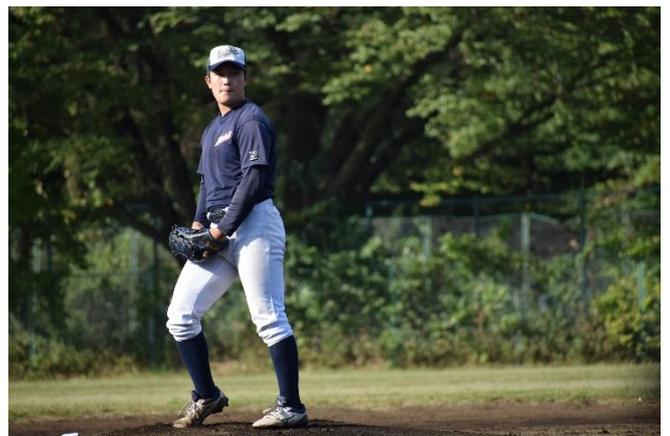
第二試合 11：30 開始 一橋大学 vs 大阪市立大学

第三試合 14：15 開始 一橋大学 vs 神戸大学

*一橋大学はどちらも1塁側

1. 最近の活動レポート

10月には活動人数や時間が緩和され、フリー打撃やポジション別ノックに加えて内野ケースや外野ケース、紅白戦等実践的な練習に取り組んでいます。久しぶりに大人数が集まるグラウンドは非常に活気づいており、良い雰囲気での練習に取り組む事ができています。秋リーグにつきましては、11月開催を見据えて日程および会場の調整をしています。依然として確定できていない状況ではございますが、選手マネージャーともに試合を強く意識しながら実践練習を重ねて参ります。



野球日和の秋晴れです！！

3年 佐藤

2. 植樹会との環境整備作業

今月 14 日、植樹会の皆様との環境整備作業が行われました。バックネット裏やレフト側通路は活動休止中に草木が伸び繁茂しておりましたので、植樹会の方と相談し急遽共同作業することとなりました。

当日は約 10 名の植樹会の方にご協力頂き、部員も時間ごとに交代しながらほぼ全員が参加しました。整備前はレフト横を自転車が通ることも難しいような状態でしたが、半日の作業でとても綺麗になりました。



3. OB 便り (H14 卒 岩松亨様 ご寄稿)

野球からもらった広がりや豊かさについて

現役の浅川マネージャーより、大変丁寧な寄稿依頼をいただきましたので、拙い文章にはなりますが、書かせていただくことにしました。

一球通信 vol.160 に寄稿されていた平成 11 年卒の浅井英先輩の文章を拝読し、あの 2 部拓殖大との入替戦（当時私は 1 年生）からもう 20 年以上が過ぎたのかと、改めて月日が経つ早さを実感しています。

ただ、20 年経っても自分自身の野球への思い出は色あせることがなく、身体はどんどん動かなくなっても、野球が好きだという揺らがない思いは、今もって自分を支えてくれるアイデンティティだったりします。

好きであれば自ずといろんなところで「野球アンテナ」が働くもので、転勤族にも関わらず行く先々の職場で野球に携わる機会に恵まれ、なぜか上司や同僚には野球部出身者が多く（これは偶然ですかね）、2 年前から住んでいる熊本でも、キャッチボール仲間には困らない、という状況です。

さらに、勧めたわけでも仕向けたわけでもないのに、二人の子どもは「メジャー 2」というアニメに夢中になり（私も子どもと一緒に夢中で観てしまい妻に呆れられています汗）、特に上の子（小学生の娘です）はゴムボールで私のノックを受けるのが毎週末の楽しみだと言うのです。

最初は私が好きなものに付き合ってくれているのかなと思いましたが、どうやらそうではなく本気で楽しいとのこと。なぜだろうと不思議に思いますが、何となく通じてしまうものなのでしょうか。

また、社会人 1 年目から 5 年間で過ごした群馬県では、やはり野球を通じて私の世界を広げてくれる出会いがありました。それは、視覚障害者の野球「グランドソフトボール」という競技、そしてそのチームメイトたちとの出会いです。

グランドソフトボールは、ソフトボールのルールを応用しながら、全盲選手と弱視選手、さらに視覚に全く障害がない人も一緒に行うことができるスポーツです。ボールはハンドボールとほぼ同じで、投手はそれを転がし、打者は野球と同じバットで打ちます。また、例えば、全盲選手はゴロを捕ってもフライアウトとして扱う、全てのベースにベースコーチがいて全盲選手を誘導する、走塁ベースと守備ベースが別になっている、など、全

盲選手も安心して活躍できるきめ細かい工夫があり、頭を使う場面が多くて非常に面白く奥深いスポーツです。

私は群馬県チームのスタッフ兼ベースコーチであり（今も在籍しています）、チームメイトたちは皆、視覚に障害がありますが、何よりも驚かされたのは、彼らのバイタリティとクレバーさ、そして優しさと強さです。

視覚に障害があるということは並大抵のことではなく、チームメイトたちには私の想像をはるかに超える挫折や苦労を味わってきた人たちが多くいます。

中途失明をした選手からは、「俺は人生を一度リタイアした人間だ」という言葉を聞いたことがありました。また、「自分たちはこうやって元気に活動できるまでになったからよいが、今も家の外に出られずにいる仲間たちがたくさんいるんだ」と言うチームメイトもいました。そしてそのチームメイトは、「だからこそ、野球を通じて、まずは外に出て身体を動かしてみよう！と仲間たちに呼びかけたいんだ」と、私の職場（放送局）に来てラジオ出演をしてくれたりもしました。

彼らもまた、野球を一つのアイデンティティとし、野球によって人生の豊かさや広がりを得ているのだと思います。

そしてそんな彼らに出会い、私自身の世界も大きく広がり、豊かになったのです。野球が持つ力、野球がくれる人との繋がりというのは、無限で、強く、そしてありがたいものです。それはもう、一生モノの財産と言っても過言ではありません。

練習を分散してやらなければならないような今の社会状況は一橋野球部の皆さんにとっても試練の一つだと思いますが、とにかく野球が好きだという思いさえ変わらなければ、いろんな道と可能性が開けてくるものだという事を、覚えておいていただけたら、と思います。

最後に、このような寄稿の機会をいただいたことに心より感謝申し上げるとともに、充実した大学野球生活を過ごさせてくださった多くの皆様、そして大切な平成14年卒の同期の仲間たちに改めてお礼を言いたいと思います。とりわけ同期の中でも、今も世話人を務めて奮闘してくれている荻田浩文君に、この場を借りて感謝の意を表します。本当にありがとうございます。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

今月も一球通信をご覧頂き、ありがとうございました。

本格的な実践練習がはじまりました。久しぶりのメニューが多く、プレーごとに確認事項が沢山ありますが、丁寧に練習やミーティングを重ねています。4年生と活動できる時間も残りわずかとなり、11月は次のチームにとって非常に重要な期間です。1日も無駄にならないよう、選手マネともに練習に励んで参ります。

また一球通信について、次回より2年内海が一球通信の制作ならびに配信を担当致します。私自身は約2年一球通信の編集に携わらせて頂きましたが、これまで沢山のOBOGの皆様からご協力、ご指南頂きましたこと、心から感謝申し上げます。メールやOB訪問の際に感想や励ましの言葉を頂いたことがとても嬉しく、励みとなりました。今後も一球通信へ変わらぬご支援、ご指導頂きますと幸いです。

秋が深まる季節、お身体にお気を付けてお過ごしください。

一橋大学硬式野球部

3年 浅川彩音

一橋大学硬式野球部公式ホームページはこちら↓

<http://jfn.josuikai.net/circles/sports/hit-u-bbc/>

ご意見・ご要望・配信停止等のご連絡等はこちらまで

hit.u.bbc.mg@gmail.com

硬式野球部ホームページ OBOG ページ パスワード hitbbc